

## 光文社デジタルプルーフ校正運用ルール ver1.0

2004年10月

日本雑誌協会および広告第3小委員会名において、<データ入稿原稿のデジタルプルーフ校正移行のお知らせ>を表明してから、1年が経過しようとしております。弊社では下記の3誌でデジタルプルーフ(以下、DDCP)校正を運用中です。ここで改めてDDCP校正運用ルールについてご説明させていただきます。

---

**対象誌**：Gainer、STORY、VS。

**DDCP出校枚数**：2枚(広告会社用1枚&広告主用1枚)

### 入稿時の注意事項

3点セットをご確認ください。3点セットはMO(CD-R)&色見本(出力見本)&雑誌広告共通データ入稿仕様書・確認書です。

弊社に入稿される前に広告会社において、必ずデータチェックを行ない、雑誌広告データ入稿仕様書・確認書にもれなく記入してください。

印刷会社へ入稿する前に、弊社でデータチェックをいたします。その時点で、“不良データ”と認めた場合はご連絡のうえ、返却します。

“不良データ”とは以下のようなデータを指します。

- ・ 画像がRGB
- ・ 画像データがepsもしくはtiff保存されていない
- ・ Illustratorデータがeps保存されていない
- ・ 画像データにICCプロファイルが埋め込まれている
- ・ 画像データの解像度が極端に低い、もしくは高い

従来どおりの<オフセット校正>を希望される場合は、入稿の際にご指示ください。入稿スケジュールは弊社広告部HPに記載されている<ポジ1回校正>の欄が最終締切日です。また、入稿時に指示がない場合およびオフセット校正締切日より遅れた場合は、自動的にDDCP校正とさせていただきます。

#### 校正出校後

出校されたDDCPは“念校扱い”です。つまり、DDCPへの赤字入れは原則としてNGです。どうしても赤字を入れなければならない場合はデータ修正を制作サイドで行ない、その修正を反映したデータから忠実に出力したDDCP色見本もしくはオフセット刷り色見本を添付願います。

要再校の指示は原則として承りません。

要再校の例外事項

- ・ 適正なDDCP色見本もしくはオフセット刷り色見本を添付していながら、明らかに色調不良が認められた場合

#### 他誌のDDCP校正について

上記3誌以外の媒体で、DDCP校正をご希望される場合は入稿時にご相談ください。運用ルールについては同様とさせていただきます。

#### 特記事項

日本雑誌協会発行「雑誌広告デジタル制作ガイド」に則った原稿制作をお願いします。データの精度向上が締切日のさらなる延長につながります。弊社は<完全データ>のみデジタル原稿として受け付けております。MO版下データに関しては事前に担当者にご相談願います。お受けできないケースもありますので、入稿前に必ず連絡願います。

オフセット校正の入稿スケジュールについて：印刷会社の校正機の関係で、今後は従来どおりの締切日でお受けできない事態が予想されます。

JMPAカラー準拠データを始めとした、デジタル原稿への転換をお薦めいたします。

この件に関するお問合わせは  
(株)光文社広告部 海老原までお寄せください。

03-5395-8120